



目次 -Contents-

1	講習会・講演会・その他お知らせ情報 ……	2
2	建築士事務所キャンペーン 基調講演概要 「大宰府の成り立ち」 九州国立博物館 赤司 善彦 …… 「まるごと博物館のまちづくり」 九州産業大学工学部都市基盤デザイン工学科 長 聡子 ……	3 5
3	福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告 概要 …… 課題 …… 審査講評 …… 受賞作品紹介 ……	8 9 11 12
4	第9回 常任理事会のご報告 ……	14
5	各支部よりお知らせ ……	15
6	賛助会よりお知らせ ……	18
7	新入会員紹介・会員動静 ……	19
8	訃 報 ……	19
9	会長の街あるき食べあるき ……	20
10	事務局よりお知らせ ……	21

管理建築士講習・建築士定期講習 開催日

管理建築士講習

- 平成24年 2月 7日(火) 【受付……平成23年11月28日(月)～12月22日(木)】

※申込者が定員に達し次第、期間内であっても受付を終了いたします。

一級・二級・木造建築士 定期講習

- 平成24年 1月 27日(金) 【受付……平成23年11月28日(月)～12月 22日(木)】
- 平成24年 2月 23日(木) 【受付……平成24年 1月 5日(木)～ 2月 10日(金)※建築士会にて受付】

※平成24年2月23日開催分については建築士会（TEL/092-441-1867）にて受付。

※申込者が定員に達し次第、期間内であっても受付を終了いたします。

《申込書の入手方法》

- (1) (社)建築士事務所協会 窓口にて配布しております。ご郵送での配布も行っておりますので、当協会のホームページより「申込書送付希望書」をダウンロードの上、FAXにてお送りください。
- (2) (財)建築技術教育普及センターのホームページよりダウンロードも可能です。
【ホームページ：<http://www.jaeic.or.jp/>】管理建築士講習、定期講習詳細ページをご覧ください。

「大宰府の成り立ち」

九州国立博物館

赤司 善彦

—大宰府とは—

「だざいふ」といえば学問の神様「菅原道真」を祀る太宰府天満宮を思い浮かべる人が圧倒的だろう。この太宰府天満宮は、大宰権帥として左遷された道真の墓所に建てられた廟がその始まりである。この太宰府だけでなくもう一つ「大宰府」という漢字が異なる「だざいふ」の歴史が都府楼（大宰府政庁）を中心に展開されていた。

本来「大宰府」は「おおみこもちのつかさ」とも読み、大君の御言（命令）を捧持して地方を支配する行政官の役所といった意味である。今から1300年ほど前に、現在の太宰府市を中心に建設された古代で最大の地方官庁のことである。大宰府の組織や役割が確立したのは七世紀末頃とされ、八世紀初頭の大宝律令施行後に本格的に整備されたと理解されている。古代を通じて西海道諸国を統括し、外交と対外防衛の前線を担った大宰府の遺跡は、今日、約900ヘクタールの広大な面積が特別史跡や史跡として保存されている。

■ 1 大宰府の成り立ち

大宰府の成立については、ヤマト政権から派遣され筑紫の那津（現在の博多湾沿岸）に常駐した筑紫大宰にその起源が遡るとする見方が古代史では一般的である。筑紫大宰の名称が史料に初めて登場するのは、推古一七（609）年である。これより以前の宣化元年（536）年には、海外との通交で日本の窓口となっている筑紫の那津に官家（みやけ）（ヤマト朝廷が倉庫群を中心にして設置した出先機関）を修繕せよとの命令が発せられている。この那津官家に各地から穀物を集め、凶作への備えと外国使節の饗応に充てると『日本書紀』は伝える。那津官家には7世紀初頭以降、筑紫大宰が常駐していたとも考えられ、白村江敗戦を契機にその筑紫大宰が現在地へと移駐してきたとする見方が強い。その性格付けについての見解は異なるが、概ねこれが定説となっている。

奈良時代以降に西海道を統括し、これを財政基盤に外交交渉の窓口や軍事的機能が整備された律令制官司としての大宰府が現在地でいつ頃、どのような契機で成立したのか、史料には明確な記述はみられない。ただし、筑紫大宰・筑紫大宰帥・筑紫率・筑紫帥・筑紫大宰率・大宰帥という長官職はそれ以前の史料に記載されている。そのため、筑紫大宰が大宰府の前身として実体があったものという前提で研究が進められてきた。

663年の白村江での敗戦後、倭は唐・新羅連合軍の侵攻を想定し、ただちに辺境防備とその伝達システムを整備するために防人や烽を対馬・壱岐・筑紫に置くとともに、水城を築き、翌年には長門国に城を、筑紫国には大野城・基肆城、を築いたと『日本書紀』は記す。

664年 於對馬嶋壱岐嶋筑紫國等置防與烽 又於筑紫築大堤名曰水城

665年秋八月遣達率答本春初築城長門國、遣達率憶礼福留達率四比福夫於筑紫國大野及椽二城

これら一連の防衛施設と連動して筑紫大宰の整備が図られたとするものである。

写真1 現在の大宰府政庁跡



■ 2 考古資料が語る大宰府の成立

大宰府諸官衙の中核である大宰府政庁跡の発掘調査は、1968年に開始された。これまでに数次にわたる調査の結果、政庁の規模と構造が明らかになった。調査開始前に地表に現れていた礎石の建物は、10世紀中頃に建て替えられていたこと、また奈良時代以前には掘立柱建物が先行して存在することなどが明らかとなった。その結果、政庁の建物群はⅠ～Ⅲ期の時期区分がなされ、Ⅰ期は7世紀後半を中心とする掘立柱建物、Ⅱ期は8世紀前半の朝堂院様式の礎石建物、Ⅲ期はⅡ期を踏襲した建物配置の礎石建物であることが確定された。

■ 3 大宰府政庁の建築

大宰府政庁の建物群は、奈良時代になると大陸風の建物に建て替えられる。屋根は瓦葺きで、建物全体を朱色に塗り、連子窓は緑となる。この重たい建物を支えるために、主要な建物は堀り込み事業による基壇を備える。これらの建物群は、当時の人々にとってこれまで目にしたこともない壮麗な建築である。そのインパクトは東京スカイツリーの出現に驚く現在の人々と同じように、驚異であった。建物は支配を象徴する意味合いを持っているのである。

これまでに大宰府政庁の建物群の復元模型を制作してきたので、ここで政庁南門の1/10模型の復元についてふれてみたい。政庁第Ⅲ期の南門は平安時代中期の10世紀中頃に再建されている。

日本の伝統的な建築物は、木造であることから、火災等によって焼失したり、地震や台風で倒壊するなど多くの場合その姿を留めていることはまれである。発掘調査では建物の柱の痕跡しか検出することが出来ない。そのため、多くは同時代の建物を参考にするしかない。

さて全体の設計を行う上で、最も重要なのが発掘のデータである。詳細な平面図を作成しているのだから、当然にしてこれが基礎資料となる。礎石間の採寸データから全体の平面規模を知ることができる。また南門の場合、礎石と雨落ち溝との距離を測ると、雨落ち溝は当然基壇の外側にあるので、軒の出がわかる。南門の場合、梁間よりも桁行の軒の出が長いので、切妻形式ではなく、入母屋形式の重層の門あるいは楼門のどちらかということになる。

礎石上面の加工から柱直径は2.2~2.3尺であることが判明している。また、柱間寸法は中央間が18尺である。日本建築では中央間の長さや柱の長さが同じである。また、木割という寸法の決まり事があり、横架材の基本である肘木巾は柱の3分の1、高さはその1.2倍、軒を支える垂木はその2分の1、柱直径は柱間の1割2分となる。こうした約束事と発掘データをもとに設計図を作成するのである。

細部の収まりとなると現存するその時代の建物を参考にするしかない。ただし、平安時代の二重門は残っていないので、ほかの建物から必要な部分を抜き出すことになる。組物は952年建立の醍醐寺五重塔に習い、入母屋の屋根構造は平等院鳳凰堂を参考にした。

こうして設計図をひき、制作にはいるのであるが、1/10なので、実物と異なる目線からの視点に耐えられるよう、若干のさじ加減が必要となる。例えば計算通りであれば隅棟の曲線も味気ないものになるので一定の範囲で勢いを与えるのである。

最後に、スケール感を出すためには、人間の1/10の人形を置くことなども必要となる。このようにして出来上がった模型が、往時の大宰府政庁を偲ぶ手助けとなれば幸いである。



写真2 政庁南門模型（1/10）

■ おわりに

九州大学には江戸時代に描かれた「都府楼図巻」と呼ばれる史料が残っている。大宰府政庁について、当時の日本国内にはない中国の建築様式にのっとって表現されているのが特徴である。これらの知識は鎖国中であって、長崎から持ち込まれた漢書研究を通じて得られたものと思われる。荒唐無稽と一蹴にはできない。大宰府の性格からすれば中国風であったかもしれないという、日本における大宰府の文化的雰囲気を示しているものとして、その存在意義が認められるのである。

古代の建物は想像復元であるが、しかし、創造に挑もうとする気概は今日の大宰府とは何かを考える上で大変参考になるのではないだろうか。

もちろん、当時の建物復元は、土や石材・木材など用材の調達・運搬・加工、そして土木・建築・鉄器生産・瓦生産など各種の技術力や労働力を集約させる必要があり、それは現在の私たちにとって創造でもある。

「まるごと博物館のまちづくり」

九州産業大学工学部都市基盤デザイン工学科
長 聡子

■ 1 「太宰府市まるごと博物館」

キャンペーン開催地である太宰府市は、太宰府天満宮や政庁跡に代表される歴史遺産が多く残る全国的にも有名なまちであり、それに加えて登山客に人気の高い宝満山など自然も大変豊かな地域です。このような特徴を活かしたまちづくりを進めるため、太宰府市では2002年に「太宰府市まるごと博物館」基本計画を策定し、市域全域を屋根のない博物館と見立て、歴史文化と自然景観の融合した地域固有の資源を再評価し、これらを活用したまちづくりに取り組まれています。具体的な内容については、市のホームページ等をご覧いただきたいと思いますが、単に歴史・文化遺産を保存するだけでなく、市民や来訪者に親しまれ、さらにはこれらの人々を通じて歴史文化資源や地域が磨かれていくことを目指した計画となっています。



写真1 大宰府政庁跡

■ 2 文化の力を活かしたまちづくり

太宰府市の取り組みもそうですが、近年、日本のみならず世界各地で、文化の力を活かしたまちづくりや都市再生に注目が集まっています。ここでは、文化資源を地域活性化に活かしている事例についてご紹介したいと思います。

● 2-1 創造都市（クリエイティブシティ）

まず初めに、近年、経済学や社会学、都市計画の分野で注目される文化を活用した都市・地域政策のキーワードとして、「創造都市（クリエイティブシティ）」が挙げられます。1990年代後半から欧州都市を中心に、都市・地域政策の一手法として戦略的に文化芸術を振興し都市の再活性化を目指す試みが広がりを見せ、「創造都市（クリエイティブシティ）」という概念が発案されました。特に近年では以下の2名が示す創造都市の概念や指標に注目が集まり、世界各地の都市・地域政策に影響を与えています。

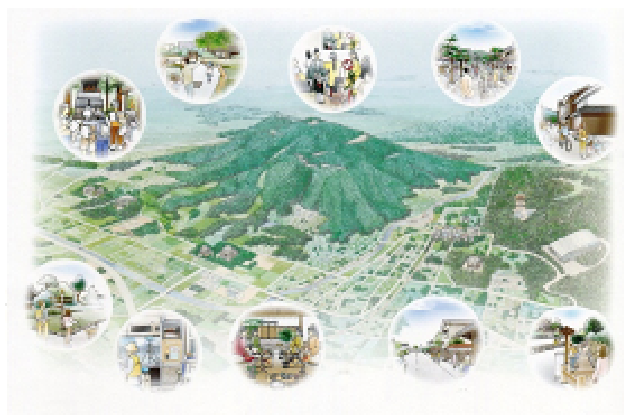


図1 太宰府市まるごと博物館イメージ図
(太宰府市HPより引用)

(1) C. ランドリー（英）『創造的都市』

C. ランドリーを中心とした欧州創造都市研究グループによって“The Creative City”（創造的都市）（1995年）が出版され、クリエイティブシティ（創造（的）都市）という言葉が世界的に普及することとなりました。この本の中では、欧州各地での製造業の衰退や産業の空洞化を背景とした都市活力の低下を、文化の持つ創造的な力によって回復させるための方法論が展開されています。伝統文化に限らず現代アートやアニメーション等の先端芸術文化を含む文化資源を活用し、加えてこれらを担う人材が集積するような環境をつくり出すことの重要性が説かれています。

(2) R. フロリダ（米）『クリエイティブ・クラスの世界』

一方のR. フロリダは、クリエイティブ・クラスと呼ばれる付加価値を創造できる人材やコミュニティに注目しており、これからの時代はこれらの人々によって経済発展が導かれると説いています。さらに、これらクリエイティブ・クラスが嗜好する環境を3T指標（Technology（技術）、Talent（人材）、Tolerance（寛容性））で評価する方法を提唱し、世界中から注目を浴びています。

● 2-2 海外の事例

近年では欧米の多くの都市で、文化を活かした都市・地域政策を導入し、観光客の誘引や大きな経済効果を挙げる事例も見られるようになってきています。中でも成功事例として有名な都市の一つにスペイン・ビルバオがあります。ビルバオは元々重工業港湾都市として栄えたまちでしたが、産業の衰退とともに失業率が上昇し治安も悪化していきました。この問題を解決するため、工場や倉庫等の旧港湾施設跡地に文化施設を整備し、水辺空間も来訪者が利用しやすいように改善することで都市の再活性化を実現しています。グッゲンハイム美術館の建設で世界の脚光を浴びていますが、単に著名な美術館だけで都市再生を図ったのではなく、港湾部一帯を対象に戦略的政策に基づき質の高い文化施策を継続的に行った結果、世界中から多くの観光客を獲得していると言えます。

●2-3 国内の事例

現在では国内でも多くの都市が戦略的な文化政策を導入しており、福岡市でも福岡市文化芸術による都市創造ビジョン懇話会において「クリエイティブ福岡10年計画」（2006年）が提言されています。ここでは国内で先進的に取り組まれてきた事例についてご紹介します。

(1) 横浜

横浜も上述したビルバオ同様、港湾機能の低下により使用されなくなった倉庫群や歴史的建造物が目立つようになり、都心の衰退が大きな問題となってきました。そのような中、都心再生政策として「文化芸術創造都市構想」が掲げられ、横浜の歴史文化を物語る倉庫群や歴史的建造物を文化芸術活動の拠点として再利用するBankARTや横浜トリエンナーレなどの様々な試みがウォーターフロント一帯で実施されています。横浜市は元々、都市デザインに関する政策や事業を先駆的に進めてきた下地があったため、創造都市政策についても全国に先駆けて取り組まれてきました。

図2
文化芸術創造都市
構想 概念図
(横浜市HPより
引用)



(2) 直島

瀬戸内海に浮かぶ直島は、現在、日本だけでなく世界からも注目を浴びる文化芸術の集積地となっています。また直島は、日本では珍しく企業メセナによる文化芸術の振興が島全体で行われています。以前は漁業や金属の精錬工場で栄えた島でしたが、産業の衰退に伴って人口が急速に減り、寂れた過疎のまちとなっていました。そのような中、対岸の岡山県に本社を置く企業の創業者との縁で、1980年代終わりから文化芸術でまちを再興させようという動きがスタートしました。当初は企業による活動のみでしたが、アーティストたちの活動に直に触れることで次第に島の人たちも文化芸術のもつ力に惹きつけられ、最近では案内ボランティアを買って出る島の人も増えてきています。



写真2 直島のアート作品

■ 3 韓国釜山における創造都市政策

●3-1 釜山国際映画祭 (PIFF)

韓国釜山市には、1996年に始められた釜山国際映画祭 (PIFF) があり、米Times誌でアジア最高の映画祭と評されるほど世界的に注目される映画祭へと急成長を遂げてきました。現在では、「釜山映像文化都市」を宣布し、国家戦略として釜山がアジアの映像産業の拠点となるよう環境整備が進められており、アジアの中でも注目度の高い創造都市の一つと言えます。

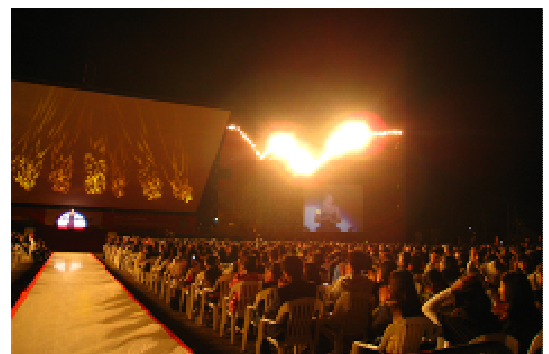


写真3 釜山国際映画祭開催風景

●3-2 PIFFの発展

PIFFは15年程の間に大きく成長し、都市の文化的価値を高め、さらには都市の活性化にも大きな役割を果たしてきました。しかしPIFFは、行政が都市戦略的に作り出したイベントではなく、映画・映像に携わる実務者が発起人となり純粋に映画祭を開催したいという動機から出発した事業でした。開催経緯は全く戦略的ではなかったものの、PIFFが実施されて以降は、アジアの映画・映像作品や人材を発掘、発展させるという明確なコンセプトの下、文化と産業を結ぶためのPPP（Pusan Promotion Plan）を同時開催したり、海外プロモーションを行うためAFM（Asian Film Market）を実施したり、さらには映画・映像を制作する人材の養成のためのAFA（Asian Film Academy）にも取り組み始めたりと、様々な方法をPIFFやその関連事業を通して柔軟に取り入れてきたことが、PIFFが急速に発展した一つの要因と考えられ、行政も継続的にその支援を行って来ました。

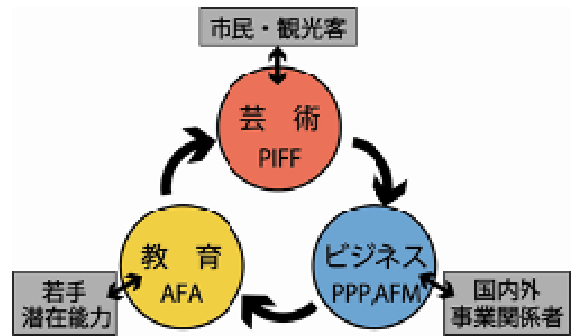


図3 芸術・産業・教育の循環

●3-3 資源の活用×地域の人材

加えて、PIFFの成功に大きな役割を果たしたのは、地域の人たちの参加・協力です。他の著名な国際映画祭とは異なり、一般客用に多くの観覧席が確保され多くの市民が映画祭に気軽に参加することができます。さらに、PIFFの運営の多くの部分を市民ボランティアが支えており、若者を中心に年々ボランティア志願者数が増加傾向にあります。このような市民が携わりやすい仕組みとすることで、市民の参加・協力意識を高め、PIFFファンを増やしていると言えます。



写真4 街なかの案内所

冒頭からご紹介してきた通り、歴史遺産や文化資源を活かしたまちづくりや地域活性化に取り組む都市、地域が全国各地、世界各地にあり、その成功事例に注目が集まっています。今回ご紹介した事例だけでもその成功の要因は様々ですが、地域に根差した取り組みとなるためには、地元市民の関心を集め、積極的に参加・協力できる仕組みが必要であると考えます。

(参考資料)

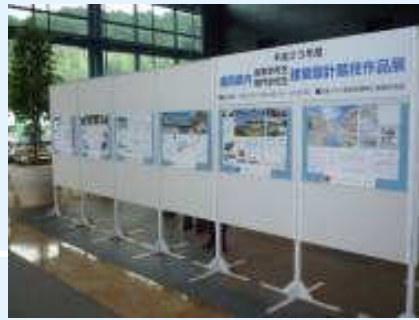
- 1) C. ランドリー、後藤 和子（翻訳）：創造的都市—都市再生のための道具箱、日本評論社、2003年
- 2) R. フロリダ、井口 典夫（翻訳）：クリエイティブ・クラスの世紀、ダイヤモンド社、2007年
- 3) 長聡子：都市戦略としての都市演出とコミュニケーションデザイン、
（財）福岡アジア都市研究所若手研究者研究活動奨励報告書、（財）福岡アジア都市研究所、2011年

3

福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告

平成23年度 福岡県内の高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技が開催されました。

今年度は高等学校の部4校より計45点、専門学校の部(高専1校を含む)6校より計92点のご応募を頂きました。うち、審査会にて選ばれた知事賞、他入賞者の表彰式が10月28日に九州国立博物館ミュージアムホールにて行われました。また10月25日～30日の期間、九州国立博物館エントランスホールにおいて作品の展示会も開催されました。



経 過

- 平成23年 5月 2日 関係校へ課題を通知、応募期限を9月15日とする
- 9月15日 提出校、高等学校の部4校、専門学校の部6校(高専1校含む)
- 10月 4日 福岡建設館において、13時30分より審査会を行い各賞決定
- 10月28日 九州国立博物館ミュージアムホールにおいて表彰式開催
- 10月25日～10月30日 九州国立博物館エントランスホールにおいて作品展示会開催

審査委員名

- 河野泰治 (社)福岡県建築士事務所協会顧問
- 福岡県建築都市部長
- 福岡県教育長
- 北九州市建築都市局長
- 福岡市住宅都市局長
- 太宰府市長
- (財)福岡県建築住宅センター理事長
- (社)福岡県建築士会長
- (社)日本建築家協会九州支部長
- (社)福岡県建築士事務所協会

協 賛

- (財)福岡県建築住宅センター

後 援

- 福岡県 ●福岡県教育委員会 ●北九州市 ●福岡市 ●太宰府市 ●(社)福岡県建築士会 ●(社)日本建築家協会九州支部

参加者の皆さまへの御礼

本年は、誰もが想像を絶する東北大震災が発生し、不幸にも数万の人々が今でも仮設住宅や避難所で地域の復興を待ち望みながらの生活であります。

今回の課題は、3年続けて「地域」をテーマとし、魅力ある「住みたいまち」を見出し、本当に安心して生活できる住居空間を提案するという計画趣旨でした。

地域の自然、文化、そして環境の保全、生活する人々とのコミュニケーションと、本来の「住宅」の設計に、別の与条件が加わり、取り組んでくれた学生諸君にはハードルが高すぎたのではとの声もありました。高校生の部で出展数が減少したのも、その一因だと反省しています。

応募された作品は、大変熱意をもって取り組んでくれた出来栄で、ご指導戴いた先生方のご苦勞には改めて感謝申し上げます。毎年、設計競技は授業を越えたタイトな時間の中、学生諸君のまさに若い芽を引き出そうと葛藤されたのではと想像出来る作品がありました。この時間が生徒の新たな意欲、価値観がより高まり学生諸君のこれからの学業がスキルアップすることと確信致します。若い人材が社会に出て、設計を通して活躍できる環境が構築出来れば、よりチャレンジ意欲が増大するものと切望致します。

最後に、公私ともご多忙のなか審査戴きました、河野審査委員長はじめ、関係諸庁、各団体のご協力に心より御礼申し上げます。

(社)福岡県建築士事務所協会 教育・研修委員会
委員長 小野 正博

平成23年度 建築設計競技 高等学校の部

平成23年度課題 『住みたいまちなみの我が家』

計画趣旨

古来より人々は場所を選び集まって居住してきましたが、家族の生活スタイルは社会と価値観の変化とともに、必要とされる住宅の形態や住まい方が工夫されて今日に至っています。

どの時代でもより良いまちづくりを目指し、より良い住宅を求め「健やかに暮らしたい」との願いが住文化として継承されてきました。しかし、昨今安心して住めるはずの日本で、自然災害やあってはならない事件が多発し、穏やかに暮らすことさえままならない状況です。

ひとりひとりが自身の生活スタイルを確立し、安心して生活できる居住空間を求めると共に、「向こう三軒両隣」ということわざのような地域から生まれるコミュニケーションを通じて、生活の知恵と意識を変化させ、新たに自由で楽しく住み続ける暮らし方が望まれるようになりました。

現在の住宅設計において、地球環境の保全のため自然エネルギーの活用等、人にも環境にも優しい住まいづくりの考え方が日常化されようとしています。

本年度は、福岡県内で住みたいまちなみを選定し、自由な発想であなたの住みたい家を計画してください。

計画条件

1) 敷地 福岡県内でコンセプトに合った場所を設定すること。(形状は自由)

- 面積……350㎡～400㎡(形状は自由)
- 用途地域……指定なし(但し、容積率200%以下、建ぺい率60%以下)
- 前面道路……幅員6m以上(方向、植樹、歩道等は自由)
- その他……電気、上下水道、ガス等の附帯設備は完備されている。

2) 建物

- 用途……専用住宅
- 構造……木造2階建て以下とする。
- 駐車場……自由とする。
- 延床面積……150㎡～200㎡
- 所要室……家族構成等を含め、自由とする。

提出図面

- 用紙……当協会配布のケント紙(B2サイズ)1枚を使用し、横書きとする。
- 提出内容……
 - ・設計コンセプト:『住みたいまちなみの我が家』にふさわしい名称をつける。
 - ・配置図(1/300):駐車場及び外構計画を含む。
 - ・平面図、立面図2面以上、断面図(各々1/100程度)
 - ・外観パース:まちなみ及び敷地内の計画を含む
- 作図条件……必ず手書きとする。CGは不可、模型写真の添付は自由、着色は自由。図面には必ず面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引出し線、室名を正しく記入すること。

応募校と 応募数

有明工業高等専門学校(1年～3年)	作品数	37点
浮羽工業高等学校	"	1点
戸畑工業高等学校	"	4点
福岡工業高等学校	"	3点
計4校		45点

個人賞

●知事賞	福岡工業高等学校	3年	岩元 寿樹
●福岡県教育委員会賞	有明工業高等専門学校	3年	今村 裕一
●太宰府市長賞	有明工業高等専門学校	3年	トウマシコ・ゾウサキ
●(財)福岡県建築住宅センター理事長賞	有明工業高等専門学校	3年	百田 直美
●会長賞	有明工業高等専門学校	3年	藤本 ちひろ
●(社)福岡県建築士会会長賞	有明工業高等専門学校	3年	小御門 真伍
●(社)日本建築家協会九州支部支部長賞	有明工業高等専門学校	3年	江口 信
●金賞	有明工業高等専門学校	3年	有働 紘希
●銀賞	戸畑工業高等学校	3年	尾林 美菜
●銅賞	戸畑工業高等学校	3年	槇 龍也
●佳作	有明工業高等専門学校	3年	吉 永 秋也
"	浮羽工業高等学校	3年	井上 裕文
"	有明工業高等専門学校	3年	池田 辰弥
"	有明工業高等専門学校	3年	椛島 悠加
"	有明工業高等専門学校	3年	比田勝 翼
"	有明工業高等専門学校	3年	牧野 穂乃香
"	有明工業高等専門学校	3年	山口 美咲

平成23年度 建築設計競技 専門学校の部

平成23年度課題 『住みたいまちなみの集合住宅』

計画趣旨

古来より人々は場所を選び集まって居住してきましたが、家族の生活スタイルは社会と価値観の変化とともに、必要とされる住宅の形態や住まい方が工夫されて今日に至っています。

どの時代でもより良いまちづくりを目指し、より良い住宅を求め「健やかに暮らしたい」との願いが住文化として継承されてきました。しかし、昨今安心して住めるはずの日本で、自然災害やあってはならない事件が多発し、穏やかに暮らすことさえままならない状況です。

ひとりひとりが自身の生活スタイルを確立し、安心して生活できる居住空間を求めると共に、「向こう三軒両隣」ということわざのような地域から生まれるコミュニケーションを通じて、生活の知恵と意識を変化させ、新たに自由で楽しく住み続ける暮らし方が望まれるようになりました。

現在の住宅設計において、地球環境の保全のため自然エネルギーの活用等、人にも環境にも優しい住まいづくりの考え方が日常化されようとしています。

本年度は、福岡県内であなた自身が住みたいまちなみを選定し、近隣（住人）との日々の関わりを最大限活かす、コミュニケーションの場となる施設を持った集合住宅を計画してください。

計画条件

- 敷地 福岡県内でコンセプトに合った場所を設定する。（形状は自由）
 - 面積……4000㎡（形状は自由）
 - 用途地域……指定なし（但し、容積率200%以下、建ぺい率60%以下）
 - 前面道路……幅員8m以上（方向、植樹、歩道等は自由）
 - その他……適切に外構計画をすること。電気、上下水道、ガス等の附帯設備は完備されている。
- 建物
 - 用途……専用住宅40戸程度
 - 構造……RC造5階建て以下とする。
 - 所要室……家族構成等を含め、自由とする。コミュニティ施設200㎡程度（別棟、分散は自由）
 - 駐車場……40台以上
 - その他……プランのコンセプトは明確にすること。

提出図面

- 用紙……当協会配布のケント紙（B2サイズ）1枚を使用し、横書きとする。
- 提出内容……『住みたいまちなみの集合住宅』にふさわしい名称をつける。
 - ・配置図（縮尺はフリー）：駐車場および外構計画を含む。
 - ・平面図、立面図（2面以上）、断面図 縮尺は1/400程度
 - ・外観パース：まちなみ及び敷地内の計画を含む
- 作図条件……CGは可、模型写真の添付は自由、着色は自由。
図面には必ず面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引出し線、室名を正しく記入すること。

応募校と 応募数

麻生建築&デザイン専門学校	作品数	47点
有明工業高等専門学校（4年～5年）	〃	6点
九州工業技術専門学校	〃	1点
九州職業能力開発大学校	〃	8点
福岡建設専門学校	〃	15点
福岡デザイン専門学校	〃	15点
計 6校		92点

個人賞

●知事賞	福岡デザイン専門学校	2年	小嶋 健志郎
●福岡県教育委員会賞	福岡デザイン専門学校	1年	志垣 侖奈
●太宰府市長賞	福岡デザイン専門学校	2年	松永 健吾
●(勲)福岡県建築住宅センター理事長賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	吉田 晃子
●会長賞	福岡デザイン専門学校	2年	楊 雅子
●(社)福岡県建築士会会長賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	兼行 祥太
●(社)日本建築家協会九州支部支部長賞	福岡デザイン専門学校	2年	宮川 佑記
●金賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	鴨川 昭雄
●銀賞	九州職業能力開発大学校	2年	宮永 大翼
〃	福岡建設専門学校	1年	植木 麻水
●銅賞	麻生建築&デザイン専門学校	1年	和田 真彩
〃	福岡デザイン専門学校	1年	栗原 彩
●佳作	福岡建設専門学校	2年	柏 美和子
〃	福岡建設専門学校	2年	佐藤 文香
〃	麻生建築&デザイン専門学校	1年	柴田 智子
〃	福岡デザイン専門学校	2年	生駒 翔悟
〃	福岡デザイン専門学校	2年	古賀 俊宏
〃	福岡デザイン専門学校	2年	宮原 喜一

高等学校の部 課題：住みたいまちなみの我が家

専門学校の部 課題：住みたいまちなみの集合住宅

戸建て独立住宅に限らず共同住宅においても、住まいでの生活が、家の周りの人々さらにはお隣さんとの関係を断ち切って、家族内だけの「閉鎖的な住生活」が進行している。こうした日常の社会状況を反映して、学校での住宅設計には、周辺地域との関連を無視した、与えられた敷地内での住戸計画、とりわけインテリアに重点を置いた作品が優勢を占めているように思われる。

手入れのゆきとどいた通り、そこに面した生垣や庭は、休日の散歩に、また通勤通学の行き帰りにも安らぎを与えてくれる。豊かな周辺環境が、通りに出てきた周辺住民との挨拶・会話を誘発する。生垣や庭、住宅は、決してそこに住まう家族だけのものではなく、地域社会を構成する。こうした住宅が集まった物的な住環境は、人びとの繋がりと相まって、安心安全な楽しい地域社会を生み出してゆく。戸建て住宅でも集合住宅でも集まって住まうことの意味がここに見いだされよう。周辺から隔離された住宅ではこうした豊かさを得ることはできないであろう。

あなたの周りに、再び足を踏み入れてみたくなるような、気になるまちなみや住宅地があるでしょう。高等学校生の課題では、既にそこに住まっている人たちが創りあげてきたまちなみに新たに一員として参入して、住まうことの楽しさを分かち合っていきたい、新たなコミュニティをつくりあげて住み続けていきたい「我が家」の計画を課題とした。専門学校生には、「近隣（住人）との日々の関わりを最大限生かすうる、コミュニケーションの場となる施設を持った集合住宅」の計画を求めた。

これから建設されるのだから、「地球環境の保全のため自然エネルギーの活用等、人にも環境にも優しい住まいづくり」は所与の条件としている。まず県内から計画地を選定することから設計計画は始まる。

応募は高校45点、専門学校92点。審査は福岡県事務所協会の審査委員14名による一次審査で設計・製図の基本と応募要件をチェックし、各36点、44点を二次審査対象として選出。二次審査員は、県の建築都市部や北九州市・福岡市などを含む県内の建築団体の役員10名の特別審査委員を加えた24名、審査員の推薦数の多い上位作品について、協議によって受賞作品を決定した。

高等学校の部 総評

海や川、緑豊かな公園沿い、森の中など選定した敷地は景観として申し分ない。果たしてここにどのように人とのつながりを紡ぎだして、定住していくことになるのだろうか。周辺環境をうまく生かして、そこになじんでいくような、あるいはインパクトを与えていくような家族の生活をしっかりとつかんだ訴える力、努力の跡はうかがえた。「我が家」への思い・構想の強さを表現し提案する力は十分なのだが、新たな近隣とのつながり・地域づくりとの切り結びへの課題要求は少し荷が重いようであった。しかし本年度の作品には製図の基本を押さえたうえで、きめ細やかな心配り、美しい仕上がりの作品が多くみられ、全体的な設計製図のレベルとプレゼンテーション力が高められたのは大きな成果と言えよう。上位入賞を逸したものの金賞から佳作入賞の作品にもこうした作品が多くみられる。（佳作入賞の梶島悠加さん、有明高専の作品はとりわけ美しい）

専門学校の部 総評

家族の生活に必要なとされる諸機能・空間を備えた住宅個々のデザインだけでは、必ずしも豊かな住生活の仕組みを提起できないのではないかと。住宅が集合することから紡ぎ出される居住地の美しさ、多様な人の構成から生み出される生活の彩と楽しさ、相互扶助。すでに出来上がった住宅地にも新たなコミュニティ再生の模索が続いていて、東北大災害の復興でも最大の課題の一つになっている。「あなた自身が住みたいまちなみを選定し、近隣（住人）との日々のかかわりを最大限生かすうる、コミュニケーションの場となる施設も持った集合住宅」の計画課題の持つ意味を深く掘り下げ、的確な主張を掲げ、その意思を明確に伝達した力作が多く見られた。プレゼンテーションのうまさも格段に上がっているのを実感することが出来たのだが、住戸が縦と横に集まっただけの訴える力が弱い作品も少なくない。

受賞作品紹介

— 高等学校の部 —

知事賞

《福岡工業高等学校 建築科3年》 岩元 寿樹



講評

福岡市の都心部近くの桜坂、森に囲まれた斜面地。ワンルームをパーティションで仕切ったLDKの2階フロアにアクセス、階下の1階を個室ブロックとする。最大の特徴はこのつながりに眺望を楽しむスロープを設けたことによって、「継住・定住型」住まいの提案になった点にある。模型写真を加えるなど昨年からは飛躍した作品に仕上がっている。周辺とのつながりへの展開があるとより良い作品になるであろう。

受賞者コメント



今回、コンペに挑戦できる最後の機会です。県知事賞という名誉ある賞を頂き、嬉しく思います。今回は大震災があったため、その社会的背景にどう取り組むか苦労しましたが、どうにかまとめることが出来ました。これから、コンペで学んだ経験を活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

福岡工業高等学校 建築科3年 岩元 寿樹

受賞作品紹介

— 専門学校の一部 —

知事賞

《福岡デザイン専門学校 環境デザイン科2年》

小嶋 健志郎



講評

大きな美しいパースに提案の趣旨は見事に凝縮されている。図面の割り付けの的確さ、パースにかけたエネルギーがすべて伝わってくる秀作。二日市温泉街に川を挟んだ2つの細長い住棟からなる「ミズベノケイ」。川辺の周遊回廊では遊び・語り・憩などせせらぎと子どもの歓声が聞こえてくる。オープンな1階ピロティとつながり、2階の住戸平面もまとまっている。都心を貫通した高速道路を廃し、橋げたになっていた元の清流をさらに都民の潤いの場に復興した韓国ソウルの清溪川（チョンゲチョン）や有明海沿いに広がった生活と一体になっていたかつてのクリークを彷彿とさせる。

受賞者コメント



知事賞という名誉ある賞を頂き、大変喜んでおります。今回のテーマが『住みたいまちなみの集合住宅』ということで、私は二日市という近隣が観光地であり、住宅地でもある特別な条件の場所を選びました。高度経済成長の恩恵を受け、利便性、安全性を重視してきたこの場所は、一本の豊かな川に背を向けるという、現在の日本における典型的な自然との距離の取り方を図っています。大震災がおき、自然との関わり方が注目されている今、人と人、人と自然のコミュニケーションの取り方を一から考えることを目指しました。その結果として、この度の受賞は、私にとって大変価値のある意味深いものとなりました。

最後に、協会の皆様ならびに関係者の方々や諸先生方、共に競い合ったクラスメートに心より感謝申し上げます。

福岡デザイン専門学校 環境デザイン科2年 小嶋 健志郎

《日 時》平成23年11月9日（水）15:00～17:00

《会 場》(社)福岡県建築士事務所協会 事務局

議 事

1. 日事連関係

- ①当協会からの各種会議参加者について
- ②各種依頼並びにアンケートへの回答について

2. 九州・沖縄ブロック関係

- ①苦情の解決業務研修会報告
10月18日（火）開催の九州・沖縄ブロック協議会指導委員研修会についての報告がなされた。また会員への一級建築士の懲戒処分の基準の周知のためメールマガジン11月号にランク表及び国土交通省から発表された直近の一級建築士の懲戒処分の一覧を掲載することが報告された。
- ②事務局会議の開催について

3. (社)福岡県建築士事務所協会関係

- ①福岡県建築都市部長訪問等の件について
- ②福岡県建築登録センター関係報告
10月の建築士事務所登録の受付件数、売上げについての報告がなされた。今年度は事業計画、予算どおり執行されており、今月は管理建築士講習の経過期限が近づいているため、管理建築士講習を受ける予定がない事務所からの廃業が多くなっている旨説明がなされた。
- ③法定講習実施、受付状況、今後のスケジュールについて
- ④11月22日開催、新入会員オリエンテーションについて
今年度第2回目の新入会員オリエンテーションが8月以降の入会6社及び前回欠席9社を対象に11月22日（火）に開催される旨説明がなされた。
- ⑤建築士事務所キャンペーン開催結果報告について
10月28日（金）に九州国立博物館で開催された建築士事務所キャンペーンについての報告がなされ、基調講演に125名、住宅相談に2名、学生コンペ表彰式に63名、学生コンペ作品展に736名の合計926名参加により盛会に終了した旨報告がなされた。
- ⑥九州公共建築フォーラム実施報告
11月8日（火）に福岡県自治会館で開催された九州公共建築フォーラム2011について延べ130名の参加により盛会に終了した旨報告がなされた。
- ⑦次期役員改選の進め方について
- ⑧福岡県ゆとりある住まいづくり協議会総会参加者について
- ⑨各種後援依頼について
平成24年2月20日（月）開催の(社)福岡県産業廃棄物協会主催の平成23年度「環境セミナー」について後援に同意することが承認された。
- ⑩次回理事会、常任理事会日程について
 - ・常任理事会 12月14日（水）13時30分～ 事務局
 - ・理 事 会 12月14日（水）15時30分～ 304号会議室※会議終了後に忘年会を開催することとし、後日案内を参加者に送る。

福岡支部からのお知らせ

福岡支部忘年会のご案内



向寒の候、貴社ますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。
今年も残すところあとわずかとなりました。福岡支部では毎年恒例の忘年会を下記の通り開催致します。
楽しい夕べのひとときを、会員の皆さんと共に過ごしませんか。皆様多数のご参加を心よりお待ちしております。

- 日 時 平成23年12月21日(水) 18:30～
- 場 所 「Sea Garden ONO」 福岡市中央区天神1-7-1 イムズB1F
TEL092-731-3909
- 会 費 5,000円/1人

※受付は締め切らせて頂きました。詳しくは福岡支部事務局までお問い合わせください。

(社)福岡県建築士事務所協会福岡支部事務局 TEL 473-5506/FAX 473-7676

福岡市確認申請の手引書のご案内

福岡支部にて「福岡市 確認申請の手引書」を販売しております。
280ページのボリュームで、さらに平成16年度版にはなかった「構造計算適合性判定における質疑の事例集」が付録として付いており、販売価格：2,000円と大変お得な内容となっております。
是非、この機会にお求めください！

福岡市 確認申請の手引書

全280ページ
¥2,000
福岡支部にて発売中!!

- 内 容：第1章 確認申請について
第2章 許認可手続き、各事務処理フロー
第3章 建築基準法取扱い
第4章 福岡市関係条例等
第5章 福岡市各種様式他
- 付 録：構造計算適合性判定における質疑の事例集

(平成21年12月改正版)

福岡支部窓口にて販売中！代金引換でのご発送も承ります。詳細はお問い合わせください。

(社)福岡県建築士事務所協会 福岡支部 TEL：092-473-5506

北九州支部からのお知らせ

第31回 西日本トータルリビングショー 出展のご報告

平成23年11月18日（金）～20日（日）第31回西日本トータルリビングショーが開催されました。

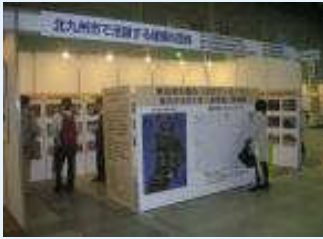
（社）福岡県建築士事務所協会北九州支部も北九州建築6団体として出展いたしました。

今回は東日本大震災の写真パネルを展示しました。

写真は地域別に震災前後の航空写真及び震災の詳細写真を、福岡県建築士会会員の加藤武弘様の現地写真の提供により、パチ化し展示いたしました。

また被災地へのメッセージも建築士会を通じ、現地にお送りいたします。

来場者のたくさんの方々に、震災の現状を観ていただき、メッセージも書いていただきました。



筑豊支部からのお知らせ

研修旅行のご報告

肌寒さを感じる11月25日筑豊支部会員11名で国分寺三重塔（みやこ町）、旧蔵内邸（築上町）、求菩提資料館（豊前市）、えんたい壕（行橋市）など、1日で12ヶ所を巡る少しハードではありましたが有意義な研修旅行を行いました。

中でも常時見学が出来ないので車窓からと予定していた旧蔵内邸がラッキーなことに屋敷に入れ建物外観や庭を見学することが出来ました。参加者から飯塚の伊藤伝右衛門邸、や麻生邸にも劣らないと驚きの声が聞かれました。

普段生活している地域内でこれだけ貴重な観光資源、財産があることに改めて驚きました。

筑豊支部 支部長 永野 和則



県南支部からのお知らせ

10回目の県南研修旅行

10回目の記念イベントで、今回は22名で広島への旅です。九州新幹線が全線開通したことを改めて感じた旅行でもあります。一時間半で広島。「ウッソー」って感じです。

今年は3月の東北大震災・更に奈良・和歌山の豪雨被害と大きな災害が続いて大変です。今もタイの大洪水は深刻な状況です。
・・暗い話題の多い中旅行中ソフトバンクの日本シリーズ進出のニュースが飛び込んできました。日本一になることは別の意味で福岡をメジャーにするきっかけになります。これからは日本一ではなく「アジア」の街に発展すると期待していると思います。福岡はよかバイ。これをキャッチフレーズに！



さて、これまで県南研修では九州各県の文化や史跡・建築・食・産業・町興しを訪ねてきました。新幹線を体験しようということになり今回は広島に決定。珍道中になりました。広島にあって久留米にないものは何か。ヒントはいくつかありそうです。広島は歴史の町です。平和公園では過去の戦争の過ちを改めて勉強できました。呉の大和ミュージアムは歴史資料館として史実がたくさん展示されています。

建物・街並みは九州とさほど変わらないようです。太宰府の国立博物館は私たちの近くにあるため、あまり感じない方も多いと思いますが広島をみることでその凄さを実感できます。広島の一部しか見ていませんが観光地としての取り組み方が久留米と違うように感じます。久留米は企業誘地に必死になっている感じがします。でも広島は国内・海外から観光客が押し寄せてきます。広島の牡蠣やお好み焼き・もみじまんじゅうは有名ですが、やはり本命は宮島だと感じました。宮島を案内してくれたガイドの方が言っていました。それでも最近宮島は景気が悪く以前より人が島を離れていると。現在島の人口は半分以下になっているそうです。



九州と違う点その1 広島は関西の影響をかなり受けていると感じます。九州は独自の文化を形成して欲しいと願っています。地域の個性を伸ばして言葉も方言を大切にしたいと思っています。

広島は雨の平和公園・雨の宮島になりましたが、九州から一歩外へ出ることで新しい物が見えてきました。県南の会員相互の親睦と地域の文化や建築を見学することを目的に始まった研修旅行も今年で10回目。継続は力なりと言いますが、地道に続けるこの大切さを今回も感じた秋の広島でした。

県南支部 幹事 田原 龍彦

大牟田支部からのお知らせ

副支部長 田中 庄一郎氏 逝去

先月は研修旅行の報告を致しましたが、池田湖を背景に撮影した記念写真が最後の一枚になろうとは予想もしませんでした。そして住宅キャンペーンの行事と懇親会に参加していただいたのが昨日の様に思い出されます。

田中氏は協会設立時に入会し、支部の発展と我々の指導に尽力されて、公私共に多忙な方でした。12月の誕生日で80歳を目前にしての現役建築士でしたが、ここに生前の徳を偲び御報告させていただきます。

合 掌

県南支部 副支部長 高巢 光男

6

賛助会よりお知らせ

賛助会 忘年会のご案内



賛助会 忘年会のご案内



向寒の候、貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
今年も残り2ヶ月を切りました。今年最後の賛助会会員の交流の場として、下記の日程で忘年会を計画致しました。お忙しいこととは存じますが多数ご出席下さいますよう宜しくお願い致します。

- 日時 平成23年12月16日(金) 18:30開始
- 場所 まほろばの里 大蔵(太宰府市通古賀1-12-3)
TEL 092-923-7778
最寄駅: 西鉄「都府楼駅」より徒歩3分
- 会費 3,000円/1人
2人目からは5,000円徴収します。
- 問合せ先(社) 福岡県建築士事務所協会福岡支部事務局
TEL 092-473-5506/FAX092-473-7676



バスツアーを開催しました

2011年11月11日(金)にて毎年恒例の建築士事務所協会・士会賛助会主催のバス研修ツアーを開催いたしました。正会員様、賛助会員の皆様にはお忙しい中、たくさんの方々にご参加いただきまして心から感謝致します。



今回は山口県山陽小野田市の長州産業様様の工場見学を企画しました。長州産業様様は住宅関連分野から最先端の半導体・エレクトロニクス分野まで、幅広くカバーし「低炭素社会・日本」の実現を目指し特に太陽光発電システムについては国内シェアアップに取り組んでいらっしゃる会社です。当日は2班に分かれ、ソーラーパネルの製造工程を見学させて頂きました。見学に於いて社員の皆様の手厚いお出迎えと分かり易い説明ありがとうございました。

工場見学後には「割烹 みちしお」にて懇親会が行なわれ、賛助会員による余興・参加者総出の炭坑節で会場は大いに盛り上がり、正会員様・賛助会員の楽しい交流の場となりました。

午後は瀬戸内・周防灘を一望できるスペイン料理レストラン「Sol Poniente (ソル・ポニエンテ)」にてティータイム。こちらは著名な建築家隈研吾氏監修の建造物で、海に面した壁はガラス張りで内装はパーチクルボードを表面材に使い家具もモダンなテストで、もう一度大切な人と訪れたい・・・そんな気持ちにさせてくれる大変趣深い場所でした。

また、朝から心配された天候もなんとか夜まで持ち応え無事終了することが出来ました。最後に準備に協力頂いた賛助会幹事の皆さん本当にお疲れ様でした。次回も今回以上の研修ツアーになるよう努力致します。お疲れ様でした。

福岡支部賛助会会長 (株)アダル 吉元和也



7

新入会員のご紹介・会員動静

新入会員のご紹介 よろしくお祝いします！

事務所名	株式会社 ハーモニー	福岡支部にご入会されました
会務代表者	大熊 伸二	
所在地	〒818-0132 太宰府市国分3-21-22	
TEL / FAX	TEL : 092-923-5804 / FAX : 092-925-7835	

会員動静

事務所名	株式会社 九州都市整備センター	福岡支部
所在地	〒810-0072 福岡市中央区長浜2-2-201 洲上ビル2F	→ 〒810-0001 福岡市中央区天神3-9-33

8

訃報

当協会の大牟田支部副支部長である田中庄一郎様が平成23年11月19日に永眠され、先日葬儀が執り行われました。設立時より長らく協会の発展にご尽力頂きましたことを感謝申し上げます。ご冥福を心よりお祈りいたします。

その13 ～ 中洲編ふたたび ～

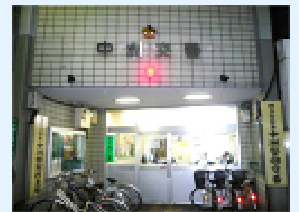
(会長:八島英孝)

あつという間にもう師走です。今年は国内も国外もいろいろな災害が起こった大変な年でした。九州の原発は全基が止まってしまい、寒い冬がやってくると電気が足りなくなるそうです。巷では節電が叫ばれていますが、実際にどうやれば節電につながるのか、なかなか難しい課題ですね。電気炬燵の敷布の下に台所用のアルミホイルを敷き詰めると電気代が1/2から1/3以下でいいとか。一度やってみてください。来年は昇り竜のようないい年になるとよいですね。

さて、忘年会のシーズン。毎夜、中洲界隈を闊歩しておられる方も多いのでは。昨年に続き、今月中洲特集です。中洲はご存じのとおり、西を流れる那珂川、東を流れる博多川というふたつの川に挟まれています。国体道路と明治通りに囲まれた一帯は2丁目から4丁目、国体道路の北側が5丁目という構成です。頭に入れておきましょう。



中洲大通りの入り口の目印はミスタードーナツ。



名物の中洲交番。二次会の待ち合わせはここ。



屋台が並ぶ那珂川沿い。



春吉橋のバントマイム。

さて、初めにご紹介するのは、お肉屋さんが経営するすき焼きの「ちんや」(博多区中洲3-7-4/092-291-5560)。夜は少々値が張りますので、お昼のランチをお試しください。博多川沿いのうなぎ店「吉塚うなぎ本店」(博多区中洲2-8-27/092-271-0700)は昔から博多っ子御用達です。ラーメン店では国体道路沿いの「海舟かいしゅう」(博多区中洲2-1-11/092-282-3637)。醤油味がおすすです。最後はタコスの老舗「ロシータ」(博多区中洲2-1-15/092-281-3382)。芸能人も訪れる気軽な有名店です。ときどき超カライ唐辛子に当たりますのでご注意ください。では、体に気をつけてお楽しみください。



ちんやの焼肉ランチ



吉塚うなぎのうなぎ



海舟の醤油ラーメン



ロシータのタコス

※画像はすべてウェブサイトから転載しました。

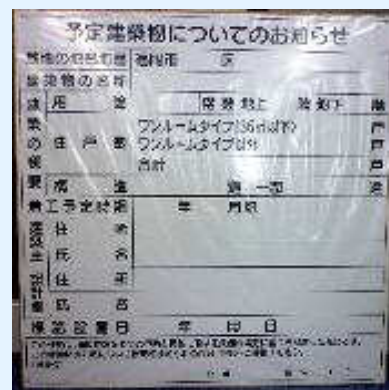
予定建築物の看板を販売しています

窓口にて福岡市指定様式の予定建築物看板を販売しています。
当協会会員の方はお得な割引価格でのご購入が可能です！
代金引換での送付も行っておりますので、ぜひご利用ください。
(※送料はお客様負担とさせていただきます)

《販売価格》

会員の方⇒4,500円

一般の方⇒5,500円



90cm

90cm

事務局 年末年始のお休みについて

年末年始の事務局の休業期間を下記の通りご案内申し上げます。
甚だ勝手ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

年末年始休業期間………12月29日（木）～1月4日（水） ※建築登録センターも休業させていただきます。

本年も建築士事務所協会に格別のご高配を賜りましてありがとうございました。
時節柄、皆さまご多忙のことと存じます。くれぐれもお身体にはご自愛くださいませ。来年も建築士事務所協会に相変わらぬお引き立てを頂けますようお願い申し上げます、歳末のご挨拶とさせていただきます。

■建築福岡Monthly 記事掲載等のお問い合わせについて

(社)福岡県建築士事務所協会 「建築福岡Monthly」編集担当までご連絡ください。

■ TEL:092-473-7673 / FAX:092-473-7278 ■ E-mail: info@f-aa.jp/